

第2次匠瑳市総合戦略 進行管理シート（令和2年度実績）

資料3

基本目標	1 ～そうさ!!匠瑳で働こう～ 地域における若者の雇用を創出する
関係課	産業振興課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
市内民営事業所従業員数	12,205人	12,400人	-					-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	市内民営事業所従業員数の増加に向けては、市の様々な分野における一体的な産業振興が必要となる。そのため、下記具体的施策に掲げた事項をバランスよく推進していく必要がある。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	今後も具体的施策を推進していくとともに、産業間の連携についても視野に入れながら取り組んでいく。							

2 具体的施策とKPI

(1) 農林水産業の活性化

① 「日本有数の植木のまち」の推進

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
1 植木の輸出相手国・地域数	13か国・地域	18か国・地域	13か国・地域					△
2 千葉県植木銘木100選登録数	60本	70本	68本					○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大により海外での展示即売会が中止となり、海外バイヤーの渡航も無くなってしまったことから、輸出相手国・地域数は伸びていない。</p> <p>2 令和2年度は、植木生産者から申請のあった植木6本全てが銘木として認定された。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>1 引き続き輸出についての情報収集や、生産者に対する財政支援等を行う。</p> <p>2 今後も植木組合等と連携し、候補木の掘り起しを継続する。</p>							

② 農業従事者の確保

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
3	認定農業者数	273件	280件	242件					△
4	認定新規就農者数	3件/年	4件/年	0件/年					△
5	海匠農業経営体育成セミナーの新規受講者数	4件/年	5件/年	3件/年					△
6	農地利用集積面積	431ha	804ha	455.5ha					○
KPI実績値に対する課題等 （ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ）		3	<p>農業者の高齢化や後継者不足による労働力不足及び設備投資への負担により、認定農業者数が減少している。 認定制度や支援制度のPR等により、認定期間満了者の更新及び新規認定者の確保を図っていく必要がある。</p>						
		4	<p>農業事務所、農業協同組合、農業会議等の関係機関と連携しながら新規就農の掘り起こしを進めている。 認定制度や支援制度のPR等により、認定新規就農者の確保を図っていく必要がある。</p>						
		5	<p>農業事務所、農業協同組合、農業会議等の関係機関と連携しながら新規就農の掘り起こしを進めている。 数に増減の波はあるが、農家数が減少している中で、就農者数は減少傾向にある。</p>						
		6	<p>規模拡大を図る担い手への集積が進んでいる一方で、担い手の総数は減少しており、利用権の期間満了に伴う更新面積が減少している。</p>						
今後の方針等 （ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）		3	<p>認定農業者制度のPRによる新規認定者の確保及び経営改善計画の策定支援や経営改善への取組に対する相談・支援活動により既認定者の再認定を促す。</p>						
		4	<p>認定新規就農者制度のPRによる新規就農者の確保及び就農計画の策定支援や経営改善への取組に対する相談・支援を行う。</p>						
		5	<p>農業後継者新規就農支援制度のPRと、県農業会議との連携で掘り起こしに務める。</p>						
		6	<p>利用権の終期に係る更新案内を徹底するとともに、農地中間管理事業を活用した農地集積の周知を図り、集積率の向上を目指す。</p>						

③ 農業の企業経営化の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
7	複合経営に取り組む農家(事業体)数	154件	200件	141件					△
KPI実績値に対する課題等 （ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ）		7	<p>市内の複合農家は、水稲経営との複合経営に取り組む農家が主である。 近年、水稲経営については、小規模農家から水稲専作の大規模経営体への経営委託が増加傾向にあるため、進捗は芳しくない。</p>						
今後の方針等 （ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）		7	<p>水稲複合農家の大幅な増加は見込めないため、それ以外の複合経営について、関係機関と連携し推進していく必要がある。</p>						

④ 農林水産物の高付加価値化・高収益化の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
8	6次産業化に取り組む農家(事業体)数	17件	20件	22件					◎
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		8	KPIを達成。6次産業化に取り組む農家数は、近年横ばいの状況が続いており、大きな動きがみられない。 令和2年11月、6次産業化を目指す事業者向けのページを、市HP内に作成した。						
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		8	農業事務所、6次産業化サポートセンター等の県の機関と連携し、6次産業化や農商工連携を志す農業者への積極的な支援を行っていく。						

(2) 産業振興及び産業間連携の推進

① 地域外からの企業誘致の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
9	地域外からの企業誘致数	1件/年	1件	0件/年					△
10	企業誘致条例による奨励措置適用事業所件数	13件	20件	16件					○
11	空き店舗等活用支援数	6件/年	14件/年	4件/年					△
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		9	空き店舗、空き用地の不足により、新たな企業誘致が積極的に行えていない。						
		10	「企業誘致及び雇用促進に関する条例」による奨励措置を行った。更なる制度の周知が課題である。						
		11	空き店舗活用支援事業を実施しているが、具体的な空き店舗の情報を求める声に対応できていないことが課題である。						
KPI実績値に対する課題等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		9	空き店舗、空き用地の情報を提供する仕組みの構築について、検討する。						
		10	県と連携して制度の周知を行うとともに、必要に応じて対象業種等制度の見直しを行う。						
		11	空き店舗、空き用地の情報を提供する仕組みについて、検討する。						

② 起業支援の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
12	創業者数	7件/年	13件/年	6件/年					△
13	経営相談指導件数	2,569件/年	2,800件/年	2,492件/年					△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>12 創業支援事業計画に基づき創業塾を実施したほか、創業資金利子補給補給金制度や空き店舗活用支援事業補助金により起業を支援した。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等により、創業者数は減少した。</p> <p>13 市で起業等に係る相談を受けた際に、必要に応じて匠瑳市商工会が実施する創業支援事業等を紹介し、経営相談指導へつなげた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等により、相談件数は減少した。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>12 創業塾の周知を図り、参加者の増加を図る。また、創業塾等による経営ノウハウの習得等を通して、年間起業数の増加を図る。</p> <p>13 引き続き、匠瑳市商工会等と連携し、創業や経営の安定化に向けた支援を行う。また、コロナ禍においても相談しやすい仕組みづくりを検討する。</p>							

③ 就労支援の充実による雇用の創出

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
14	市内企業と若者のマッチング支援による就職者数	0人	10人	4人					○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>14 匠瑳市雇用促進協議会と連携し、合同企業説明会を実施した。また、ハローワークと連携した「出張ハローワーク」を実施した。合同企業説明会への参加者を増やすための周知等が課題である。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>14 引き続き匠瑳市雇用促進協議会と連携した合同企業説明会の実施するとともに、周知に努める。</p>							

④ 中小企業の経営基盤強化

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
15	融資及び利子補給制度利用件数	215件/年	250件/年	194件/年					△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>15 新型コロナウイルス感染症に係る国の融資制度が創設されたため、融資件数が減少していることから利子補給件数も減少している。本市の融資制度についても、融資利率の低減を行う等利用促進を図った。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>15 事業者のニーズに応じた制度設計や融資利率の見直しを実施する。</p>							

⑤ 効果的な観光情報の発信

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
16	観光ガイドブックによるおすすめルート設定数	9ルート	10ルート	11ルート					◎
17	匝瑳市をロケ地とする映画・番組数	6本/年	10本/年	1本/年					△
18	歴史的建造物などを活用したイベント開催件数	2回/年	3回/年	0回/年					△
19	匝りの里観光案内所利用者数	2,012人/年	2,200人/年	1,680人/年					△
KPI実績値に対する課題等 (・実施事項 ・実績値の要因 ・課題)		16 おすすめ散歩ルート検討会議において、散歩ルートを整理・新ルート案を検討した結果、全11ルートを設定した。 市観光協会と連携した「八社参りで初詣」を実施した。 4/25から5/10までの間に「駅からハイキング」を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。							
		17 市に撮影について相談のあったもののうち撮影に至ったものは1件であった。 また、令和元年に撮影を行った映画の公開に合わせて、配給会社・千葉県・県内ロケ地の自治体でプロモーションを行った。							
		18 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出や感染拡大防止の観点から、イベントの実施はなかった。							
		19 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出やレジャーの自粛の機運もあり、観光案内所の利用者数は減少した。							
今後の方針等 (・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法)		16 ルートの認知度向上や歩きたくなる仕掛けづくりを推進する。							
		17 映画・番組等の制作会社と、ロケ地となる撮影場所との調整を行い、ロケ誘致に努める。							
		18 「飯高檀林跡」に加え、他の歴史的建造物を活用したイベントの開催を検討する。							
		19 匝瑳市観光協会及びNPO法人匝瑳市観光物産協会と連携し、施設の集客イベントを引き続き実施する。							

第2次匠瑛市総合戦略 進行管理シート（令和2年度実績）

基本目標	2 ～そうさ!!匠瑛で暮らそう～ 匠瑛市への定住促進を進める
関係課	企画課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
社会増減数		▲270人 (R2～R6)	▲146人					△
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	下記具体的施策に掲げた事業を実施し数値目標の改善に努めてきたが、依然として人口減少に歯止めがかかっていない。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	引き続き、取組を継続するとともに、移住・定住促進に係る先進事例の研究等を通して、事業・取組の充実を検討する。							

2 具体的施策とKPI

① 定住・移住人口の確保

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
20 転入者マイホーム取得奨励金を活用した転入者数	508人	1,018人	622人					○
21 空き家バンク登録物件数	38件	50件	43件					○
22 空き家バンク成約物件数	13件	28件	17件					○
23 移住・定住相談件数	-	20件/年	11件/年					○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	20	市民課窓口や移住相談会、移住イベント、移住パンフレット（本市の紹介や移住者の体験談、各種移住支援制度をまとめたもの）等様々な媒体を通して事業周知を行った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言（特に第1回宣言：4月～5月）の影響で住宅取引に下押し圧力が生じ、申請に結びつかなかったと考えている。						
	21	納税通知書に案内チラシを同封したほか、空き家問題全般を所管する都市整備課と情報共有や連携を図りつつ、制度の周知や空き家対策を図った。その結果、所有者からの相談や連絡は増えた。物件の状態や価格等の条件により、利用の見込みが少ない案件についての相談も多い。						
	22	物件に対する問い合わせが寄せられているものの、買主負担の修繕が必要となる等の、物件状態や価格等の条件が買主と売主とで一致しないことにより、成約まで至らない例が多い。 空き家バンクの制度や登録物件について、周知した。 成約数のさらなる増加に向けては、登録物件数の増加、利用者のニーズに合った物件の提供（状態にこだわらず、安価な住宅を求める利用者が多い。）が課題である。						
	23	ZOOMを使用したオンライン移住相談窓口を、令和3年3月から常設化した（令和2年度中の相談件数1件）。 千葉県、県内自治体、関係団体等と連携し、移住・定住イベントをオンライン形式で実施した（令和2年度は3回、相談件数3件）。 オンライン形式の場合、いかに参加者を相談まで誘引するかが課題である。						

<p>今後の方針等</p> <p>（ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）</p>	20	<p>転入者マイホーム取得奨励金制度は、10年以上の居住意思を要件としていることや、同制度の利用者アンケート等から、事業による定着効果が高いことが伺える。 引き続き、関連する移住・定住支援施策と併せて、制度の周知と活用促進を図る。</p>
	21	<p>引き続き事業の周知を図る。</p>
	22	<p>引き続き登録物件の周知を図るとともに、空き家所有者に対して利用者のニーズを伝える等、利用者のニーズに合った物件の提供に努める。</p>
	23	<p>引き続きイベントや周知を通じて、匠瑳市の認知度向上と相談件数の増加を図る。</p>

② 高校生のまちづくりへの参加

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
24	将来匠瑳市に居住する意思を持つ高校生の割合	7.7%	15.0%	-					-
<p>KPI実績値に対する課題等</p> <p>（ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ）</p>		<p>24</p> <p>例年、高校生がよかつべ祭りに参加する機会を提供していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、よかつべ祭り自体が中止となった。 千葉県海匠地域振興事務所や地元企業との連携により例年実施していた「地元企業との意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。代替策として、参加予定高校に市内企業の情報を送付した。 「匠瑳市と高校生との意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面方式での開催を中止し、書面方式により開催した。 地元産業や地域に対する理解を深めることは、将来の地元定着やUターンにもつながることから、今後も高校生が地域のことを知り、関わる機会の創出が必要である。</p>							
<p>今後の方針等</p> <p>（ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）</p>		<p>24</p> <p>若者が主な構成員となる団体等の地域づくり等の公共的な活動への後援等により、当該活動を支援し、若者の当該活動に対する参画を促進する。 また、今後も、ボランティア情報等の情報提供や、よかつべ祭りへの参加を継続するとともに、高校生が本市を知り、親しみを持てるよう、高校生が参加できる事業を増加させる。 地元企業との意見交換会や、市長との意見交換会等を通じて、高校生が地域のことを知り、学ぶ機会を創出する。 高校等との協働により、「自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力」の育成の一環として市民提案型事業（子どもまちづくり提案型）の提案の促進や、まちづくりへの意見の提案等ができる環境を整える。</p>							

③ 生涯活躍のまちづくり

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
25	事業地内のサービス付き高齢者向け住宅に移住した各年度末時点の移住者数	-	30人	0人					-
26	事業地内の施設において、新たに雇用された各年度末時点の労働者数	29人	48人	117人					◎
27	市及び事業主体に移住相談を行った事業地内のサービス付き高齢者向け住宅への移住相談者数	16人	120人	78人					○
28	事業地内の地域交流拠点施設に設置する農産物直売所（ミニスーパーマーケット）における農業就業者1人当たりの年間収入額	-	600千円	-					-
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		25	サービス付き高齢者向け住宅は現在整備中であり、令和4年2月に開設予定。						
		26	KPIを達成済み。						
		27	事業周知や移住希望者への情報提供の拡充を図るため、同法人が都市部住民に向けたPR・プロモーション活動として、プロモーション動画や生涯活躍のまち匠瑛パンフレットを作製した。						
		28	地域交流拠点施設は現在整備中であり、令和3年11月に開設予定。農産物直売所の開設に向けて、農業者団体・農業者等と意見交換や協議を支援した。						
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		25	実施主体にサービス付き高齢者向け住宅に対する相談（KPI27）や問い合わせが数多く寄せられていることから、令和3年度のサービス付き高齢者向け住宅の運営開始により達成が見込まれる。 相談会やプロモーション活動を通じて、移住希望者への周知や移住動機をより高めていき、KPIの達成を目指す。						
		26	KPIは達成済みであるが、令和3年度にサービス付き高齢者向け住宅及び地域交流拠点施設の2施設が新たに運営開始することから、さらに雇用は増加する見込みである。						
		27	PR・プロモーション活動と併せて、令和3年度はサービス付き高齢者向け住宅の入居者募集を開始することから、入居を検討している者へのアプローチがより具体的になるため、KPIの達成が見込まれる。 PR・プロモーション活動・体験会等の実施、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と新しい生活様式に基づいたサービス提供による安全と安心の確立、お試し住宅と暮らしの相談窓口を通じた生活相談体制の確立等を通じて、移住希望者への周知や移住の機運をより高める。						
		28	農産物直売所の開設に向けて、引き続き農業者団体・農業者等と意見交換や協議を支援する。						

第2次匠瑳市総合戦略 進行管理シート（令和2年度実績）

基本目標	3 ～そうさ!!匠瑳で育てよう～ それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす
関係課	福祉課、健康管理課、学校教育課、企画課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
合計特殊出生率	0.98	1.62	-					-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	下記具体的施策に掲げた事業を実施し、結婚・出産・子育て等、それぞれのライフステージに合わせた支援を行った。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	引き続き各施策の実施・充実に努めるとともに、ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。							

2 具体的施策とKPI

① 子育て世代のコミュニケーションの充実

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
29 年間つどいの広場利用者数	6,599人/年	9,000人/年	3,158人/年					△
30 子育てサークル数	1サークル	2サークル	0サークル					△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>29 乳幼児を持つ親子が気軽につどい、情報交換や交流のできる場所を提供するとともに、参加者から寄せられる相談内容や研修等で紹介された子育て支援情報等を盛り込んだ講習会を実施して利用拡大を図っている。 なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年4月1日から6月30日までの間、施設の利用を休止した。</p> <p>30 子育てサークルの活動の場の提供、広報等による周知を行ったが、メンバーの減少によりサークルが解散したため、サークル数は減少となった。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>29 つどいの広場は子育て支援に関する情報や相談・助言を提供する場として引き続き重要な役割を担うこととなる。研修等の受講による子育て支援アドバイザーのスキルアップを図るとともに、利用者の要望を参考に新たな講習会等を実施するほか、福祉課・健康管理課に開設された子育て世代包括センターにおいて、つどいの広場の周知を図り、利用を促進する。</p> <p>30 民間団体が開催する子育てに関する講習会等を市が後援することで参加者拡大を図り、参加者同士の交流を促進して子育てサークル活動の活性化につなげる。子育て世代包括支援センターにおいてサークル活動の紹介、参加促進を図る。</p>							

② 子育て世代の負担軽減

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
31	病児・病後児保育実施か所数	0か所	1か所	0か所					△
32	一時保育実施か所数	8か所	8か所	8か所					◎
33	障害児保育実施か所数 (助成か所数)	12か所 (0か所)	12か所 (8か所)	12か所 (0か所)					○
34	育児休業取得率	男性2.8% 女性42.7%	男性10.0% 女性50.0%	—					—
35	子育てについて不安や負担を感じる 人の割合	4.3%	3.0%	—					—
KPI実績値に対する課題等 () ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		31	病児・病後児保育事業は、看護師等の人材確保に加えて、感染症等に罹患している児童を保育する保育室や医療設備の設置が必要となるため、既存の保育園等では実施することが困難である。						
		32	現在民間保育園7園及び認定こども園1園において、一時保育を実施している。						
		33	現在公立・民間保育園及び民間認定こども園において障害児保育を実施している。障害児保育に係る助成金の支給基準を満たす保育士数を確保できていないため、助成か所数はゼロとなっている。						
		34	関係課と連携し市内公共施設等にポスター及びチラシを配架するほか、市ホームページを通じて情報提供を図った。						
		35	本基本目標に掲げた具体的施策や、第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策を推進・実施した。						
今後の方針等 () ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		31	平成30年度に認定こども園を開設した社会福祉法人九十九里ホームと、病児・病後児保育事業の実施について協議している。						
		32	今後も引き続き民間保育園等8園において一時保育事業を実施する。						
		33	助成か所数増加の課題である保育士数の確保に向け、保育士の処遇改善を検討する。						
		34	既存の取組のほか、匠瑳市雇用促進協議会等を通じた事業者への制度周知を検討する。						
		35	引き続き基本目標に掲げた具体的施策や、第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策を総合的に推進し、子育てについての不安や負担の軽減に努める。						

③ 子どもたちの遊び場の確保

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
36	放課後児童クラブ実施か所数	12か所	12か所	12か所					◎
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		36 児童の安全や衛生確保のための施設環境の改善を行った。 また、支援員等の適切な配置及び活動内容の工夫により、受入れ児童数の増加への対応を行い、より充実した活動を実施している。							
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		36 市内利用希望児童数を把握するとともに、今後の児童数の予想を参考にしながら、適切な児童クラブ数を維持又は拡大する。 ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。							

④ 安心して子どもを産み、育てるための環境づくり

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
37	積極的に育児をしている父親の割合	57.4%	60.0%	65.20%					◎
38	子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思う市民の割合	63.2%	70.0%	-					-
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		37 母子健康手帳交付時や各乳幼児健診等の際に、父親の育児参加についての必要性について伝えたこともあり、積極的に育児を行っている父親の割合が増加している。 38 保育園の待機児童はゼロである。 子ども医療費の無料化やチャイルドシート購入費用の助成等、子育て世代への経済的負担の軽減に取り組んでいる。 個別相談や健康教室等を通じて、出産や子育てに関する正しい知識の提供や、不安の解消に取り組んでいる。							
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		37 引き続き、各健診時や各種健康相談・教室時に必要性を説明し、父親の育児参加を促していく。 38 引き続き、子育てに関する助成や支援制度の充実や情報発信に努める。							

⑤ 婚活支援の充実

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
39	出会いの場参加者数	68人/年	80人/年	0人/年					×
40	婚活サポーター数	4人	10人	4人					△
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		39 新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベント開催については中止している。 不特定多数の参加者が飲食を伴って対面で交流するスタイルでのイベントの開催が困難であり、代替的な取組も難しい。 40 婚活サポーター4人を令和2年3月に再委嘱した。							
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		39 コロナ禍での安心で安全な婚活イベント等の開催について検討する。 40 婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続する。 対面式のイベント以外での結婚に向けた支援について、婚活サポーターの協力も得ながら検討する。							

第2次匠瑛市総合戦略 進行管理シート（令和2年度実績）

基本目標	4 ～そうさ!!匠瑛でつながろう～ 地域との多様な連携を進める
関係課	環境生活課、産業振興課、企画課、生涯学習課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
協働によるまちづくりが推進されている と思う市民割合	24.2%	28.5%	-					-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	平成27年度に匠瑛市市民協働指針、匠瑛市市民協働推進条例を定め、平成28年度から同条例を施行する等、下記の具体的施策に掲げた取組をはじめとして、市民協働推進の主管課である環境生活課での各種事業（市民提案型事業に対する助成等）を通して、協働の理念が根付くよう努めている。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	今後も、協働について庁内及び市民周知を図りつつ、市の様々な事業の中に協働という視点を盛り込むよう努める。							

2 具体的施策とKPI

① 多様な主体による連携・協働の促進

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
41 市民提案型事業採択団体数	4団体/年	5団体/年	2団体/年					○
42 市内企業と若者のマッチング支援による就職者数（再掲）	0人	10人	4人					○
43 婚活サポーター数（再掲）	4人	10人	4人					△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	<p>41 子どもまちづくり提案型2団体（八日市場小学校、共興小学校）市内の小学校、中学校及び高等学校に、事業周知や直接出向いての事業説明を積極的に行ったことにより実績が残った。また、新団体設立支援、団体ステップアップ支援、協働提案型については、事業費の3分の2の額が助成額であり、3分の1は自己資金となるため、捻出することできず提案までのネックとなっている。</p> <p>42 匠瑛市雇用促進協議会と連携し、合同企業説明会を実施した。また、ハローワークと連携した「出張ハローワーク」を実施した。合同企業説明会への参加者を増やすための周知等が課題である。</p> <p>43 婚活サポーター4人を令和2年3月に再委嘱した。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	<p>41 自己資金の確保をどのように支援していくか検討する。</p> <p>42 引き続き匠瑛市雇用促進協議会と連携した合同企業説明会の実施するとともに、周知に努める。</p> <p>43 婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続する。対面式のイベント以外での結婚に向けた支援について、婚活サポーターの協力も得ながら検討する。</p>							

② 交流人口の増加

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
44	年間観光入込客数	999,039 人/年	1,020,000 人/年	672,322 人/年					△
45	宿泊客数	6,329 人/年	7,000 人/年	5,652 人/年					△
46	農業体験・交流イベント参加者数	416人/年	700人/年	65人/年					△
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		44	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出やレジャーの自粛機運、八重垣神社祇園祭やよかっぺ祭りをはじめとする各種イベントの中止の影響により、総じて入込客数が減少した。						
		45	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出やレジャーの自粛機運、八重垣神社祇園祭やよかっぺ祭りをはじめとする各種イベントの中止の影響により、観光客や合宿等の宿泊施設の利用が著しく減少した。						
		46	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、農業体験等のイベントが中止となった。						
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		44	新型コロナウイルス感染症の状況に柔軟に対応し、観光情報の周知に努め、入込客数の増加を図る。						
		45	宿泊業を営む企業の固定資産税免除措置等により、宿泊施設の誘致を図る。						
		46	新しい日常に対応した食育体験事業や都市農村交流事業を計画し、イベントが継続できる体制づくりを図る。						

③ シティプロモーション活動の推進と関係人口の増加

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
47	移住・定住相談件数（再掲）	-	20件/年	11件/年					○
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		47	ZOOMを使用したオンライン移住相談窓口を、令和3年3月から常設化した（令和2年度中の相談件数1件）。千葉県、県内自治体、関係団体等と連携し、移住・定住イベントをオンライン形式で実施した（令和2年度は3回、相談件数3件）。オンライン形式の場合、いかに参加者を相談まで誘引するかが課題である。						
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		47	引き続きイベントや周知を通じて、匝瑳市の認知度向上と相談件数の増加を図る。						

④ スポーツを軸とした連携と交流づくり

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
48	スポーツ教室への参加者数	4,660 人/年	5,000 人/年	3,120 人/年					△
49	パークゴルフ場利用者数	-	24,000 人/年	8,174 人/年					○
KPI実績値に対する課題等 () ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		48	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した教室があり、参加者数は例年より減っている。						
		49	令和2年10月から供用を開始し、3月末までに8,174人の利用があった。引き続き利用者数増加のための施策を行っていく。						
今後の方針等 () ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		48	感染拡大防止に努めて、スポーツ教室を実施していく。						
		49	教室・講習会の実施や大会の企画等の、利用者数増加につながる施策を今後も実施していく。						

重要業績評価指標(KPI)の状況
令和3年3月現在

KPI全体の状況		◎	○	△	×	－	計
①	該当件数	6	14	22	1	6	49
②	率(%)	12.24	28.57	44.90	2.04	12.24	100

◎+○ 件数 20件 率 40.82 %

基本目標1 ~そうさ!!匠で働こう~ 地域における若者の雇用を創出する	◎	○	△	×	－	計
	2	4	13	0	0	19
(1)農水産業の活性化	◎	○	△	×	－	小計
	1	2	5	0	0	8
① 「日本有数の植木のまち」の推進		1	1			2
② 農業従事者の確保		1	3			4
③ 農業の企業経営化の推進			1			1
④ 農林水産物の高付加価値化・高収益化の推進	1					1
(2)産業振興及び産業間連携の推進	◎	○	△	×	－	小計
	1	2	8	0	0	11
① 地域外からの企業誘致の推進		1	2			3
② 起業支援の推進			2			2
③ 就労支援の充実による雇用の創出		1				1
④ 中小企業の経営基盤強化			1			1
⑤ 効果的な観光情報の発信	1		3			4

基本目標2 ~そうさ!!匠で暮らそう~ 匠都市への定住促進を進める	◎	○	△	×	－	計
	1	5	0	0	3	9
① 定住・移住人口の確保		4				4
② 高校生のまちづくりへの参加					1	1
③ 生涯活躍のまちづくり	1	1			2	4

基本目標3 ~そうさ!!匠で育てよう~ それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす	◎	○	△	×	－	計
	3	1	4	1	3	12
① 子育て世代のコミュニケーションの充実			2			2
② 子育て世代の負担軽減	1	1	1		2	5
③ 子どもたちの遊び場の確保	1					1
④ 安心して子どもを産み、育てるための環境づくり	1				1	2
⑤ 婚活支援の充実			1	1		2

基本目標4 ~そうさ!!匠でつながろう~ 地域との多様な連携を進める	◎	○	△	×	－	計
	0	4	5	0	0	9
① 多様な主体による連携・協働の促進(再掲2件)		2	1			3
② 交流人口の増加			3			3
③ シティプロモーション活動の推進と関係人口の増加		1				1
④ スポーツを軸とした連携と交流づくり		1	1			2

備考

◎・・・目標達成

○・・・順調に進捗

△・・・あまり進捗していない

×・・・戦略策定時を下回った・未実施

－・・・未判定(判定方法の実施時期ではない、等)

※ 数値及び取組内容等を総合的に判断